

日本赤十字社臨床工学技士会の皆様

石巻赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課を代表しましてこの度の業務支援に感謝の意をお伝え致します。

3月11日に発生した東日本大震災により東日本各地で甚大な被害がありました。その中でも被害が大きかった石巻医療圏で唯一残った石巻赤十字病院では災害救護の拠点病院として職員一丸となって対応しました。病院には想像もつかないほどの患者が搬送され、まるで戦場のような状態でありました。さらに被災した職員も多く、家族の安否確認、家の片づけなど不安を抱えながら業務に当たる日々が続き、肉体的にも精神的にも疲労困憊の域に達しており、このままでは乗り切れないと思い本社を通して皆様へ支援の依頼をお願いした次第です。

全国の赤十字病院からウルトラマン（日赤救護服を着た臨床工学技士）の皆様が石巻まで助けに来てくれました。今回着てくれたウルトラマンは6日間から18日間にわたり石巻で支援活動をして頂きました。さすがのウルトラマンでも慣れない業務環境の中での業務で大変だった事と思います。皆様の一所懸命に業務に向かう姿や、合間に交わす会話により、どれだけ元気と勇気を頂き、癒されたか計り知れません。支援に来られた方々のチームワークの良さには驚きましたし、何とかしなければという気持ちが伝わってきました。

今回の業務支援により赤十字病院の繋がり、技士会の繋がり有り難さを感じました。顔の見える関係は本当にいいものです。業務支援に来られた皆様と派遣に応じて頂いた施設の皆様、救援物資や義援金などたくさんのご支援に石巻赤十字病院一同、心から感謝を申し上げます。

復興・再構築まではまだまだ長い道のりではありますが一步一步進んでいきたいと思えます。

ご支援ありがとうございました。

石巻赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課
熊谷 一治